

太平洋戦争開戦から80年

再び戦争への道 歩まないために

12月8日は、日本が侵略戦争をアジア太平洋全域に広げた太平洋戦争開戦から80年です。この戦争でアジア2000万人以上、日本の310万人以上の命が奪われました。その反省の上に制定された日本国憲法は、戦争を放棄し、自由と民主主義、基本的人権の保障を明記しました。この憲法を踏みにじるような大軍拡が、いま進められつつあります。

防衛費2倍をめざす大軍拡へ



安倍・菅政権を引き継いだ岸田政権は、先の総選挙で改憲発議に必要な3分の2の議席を手に入れました。岸田首相は、任期中に憲法改定国民投票の実施をめざすと公言しています。「敵基地攻撃能力」保有の検討を明言し、防衛費の2倍化まで主張しています。米国やNATO諸国、豪・印などとの多国間演習を激増させる一方で、核兵器禁止条約への参加も締約国会議へのオブザーバー参加も拒否しました。バイデン政権が核兵器先制不使用方針に走らないよう働きかけまでしています。

改憲に急ピッチの岸田政権



同時に岸田政権は、「戦争する国づくり」を強固にするために、改憲を加速化しようとしています。9条への自衛隊明記、緊急事態条項の創設などの自民党案を土台に、国会憲法審査会で改憲案作成を急がせる姿勢です。

安保一辺倒でない平和外交を



日米安保一辺倒の「戦争する国づくり」ではなく、平和外交を推進する政治を求めます。憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、生活向上を実現する政治を求めます。

憲法を
生かす
政治を



憲法改悪反対、憲法を生かした政治を求める署名にご協力ください

日本平和委員会

2021年12月発行
一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
<http://j-peace.org/>
東京都港区芝1-4-9平和会館4階
TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277